

西中図書館 新刊オススメ本



『家庭教室』
伊東 歌詞太郎 [著]
KADOKAWA

ネット動画投稿の力強い歌声とメッセージで注目を集め、2014年にメジャーデビューを果たしたシンガーソングライター

ター・伊東歌詞太郎。初の小説となる本作は、大学生の灰原巧を主人公に、彼が家庭教師として訪れた家族や子どもが抱える問題を解決していく姿を描いた作品です。歌詞太郎氏の楽曲と同様、子どもたちが抱える問題や、その心の機微がみずみずしく表現されていて、10代を中心に多くの読者から共感を集める内容となっています。



『子どもの脳をぐんぐん育てるレシピ&おやつ80』
久保田 競 [著]
主婦の友社

『恨みっこなしの老後』
橋田壽賀子 [著]
新潮社



『未来』
湊 かなえ [著]
双葉社



『身代わり忠臣蔵』
土橋 章宏 [著]
幻冬舎

町民ギャラリー まんさく俳句会

俳句には『季語』を入れることが原則で、“季語を詠む”とまでいわれています。暦の上では間もなく「立秋（8月7日）」を迎え、この日以後は秋を詠むことになります。「夜の秋」という季語があります。暑さの中に秋の気配を捉えたことばです。皆さんも「夜の秋」で一句詠んでみませんか。 まんさく俳句会代表 矢部征男

- 夏めくや客の好みのシヨートヘア
相原 芳子(野沢上原)
- 早苗田の水面に逆々高陽嶺
小野木 麗子(真ヶ沢)
- 六月ワラビ一重にして俳句会
齋藤 京子(上野尻)
- 裏木戸の風の夏めく昼下がり
佐藤 ミエ子(野沢本町)
- 夏めくや脱ぎし上着の重きこと
田崎 宗作(小杉山)
- 夏めくや弾むおしやべり昏れ間近か
西尾 公子(野沢上原)
- 夏まぎす旅の途中の湯葉料理
長谷川 清子(野沢下小屋)
- 一竿は母と児のもの夏まぎす
小林 雪柳(講師・選者)



田んぼの生き物たくさん見つけ！

西小わくわくクラブ×農協青年部「田んぼの生き物探けん」

町公民館では、小学生が放課後や休日に安心してまなまな体験活動ができるよう放課後子ども教室（西小わくわくクラブ）を開催しています。6月30日には、J A会津よつば青年連盟西会津支部の皆さんと合同で、田んぼの生き物を調査する「田んぼの生き物探けん」を行いました。当日は日中の気温が30度を超える暑さでしたが、子どもたちは元気いっぱい！恐る恐る田んぼに入ると、泥や草の感触に歓声を上げながら生き物を探していました。この時期は尻尾のついたオタマジャクシや小さなアマガエルがたくさんいます。児童たちは田んぼの泥に苦戦しながらも楽しそうにカエルを追いかけて、カエルも子どもたちにも逃げられまいと逃げ回っていました。ほかに、ミジンコやコオロムシ、ドジョウなど、約15種類の生き物を見つけ、参加した児童たちは、さまざまな生き物と共に生きていることを実感していました。



また、講師からは「ごはん1杯分のお米を作るためには稲3株が必要で、その空間にはオタマジャクシが35匹も育っているということも教わりました。汗をいっぱいかいた後は、お昼ごはん。みんなで、食生活改善推進員の皆さんが作ってくれた西会津産米のおにぎりとキュウリ、豚汁をおいしくいただき、自然の恵みに感謝しました。今回の休日活動「田んぼの生き物探けん」は、ふるさとの自然の豊かさに触れ、命の大切さや農業について学んだ一日となりました。